平成１６年９月２４日
日本原子力発電株式会社

敦賀発電所１号機　第２９回定期検査の状況について
（原子炉格納容器圧力抑制室の点検結果）

敦賀発電所１号機（沸騰水型軽水炉：定格電気出力３５万７千キロワット）は、平成１６年９月１８日より第２９回定期検査中ですが、９月２２日から２３日にかけ保全対策として実施した原子炉格納容器圧力抑制室*内の点検で、圧力抑制室内（水中）に異物（棒状の物体１本）を確認し、回収しました。なお、この他に異物は認められませんでした。

回収した異物は、外径約２．５ｃｍの金属製の棒に網が取り付けられた全長約３．６ｍのものであり、形状等から圧力抑制室の機能上問題となるものではないことを確認しています。今後とも異物混入防止に努めて参ります。

＊圧力抑制室

原子炉格納容器の下部にあり、原子炉格納容器内圧力が蒸気等で上昇した場合に、その蒸気を圧力抑制室内に導いて冷却することで、原子炉格納容器内の圧力を低下させる設備。また、原子炉冷却材喪失事故時の非常用炉心冷却系の水源として水を貯蔵する役割もある。

添付資料

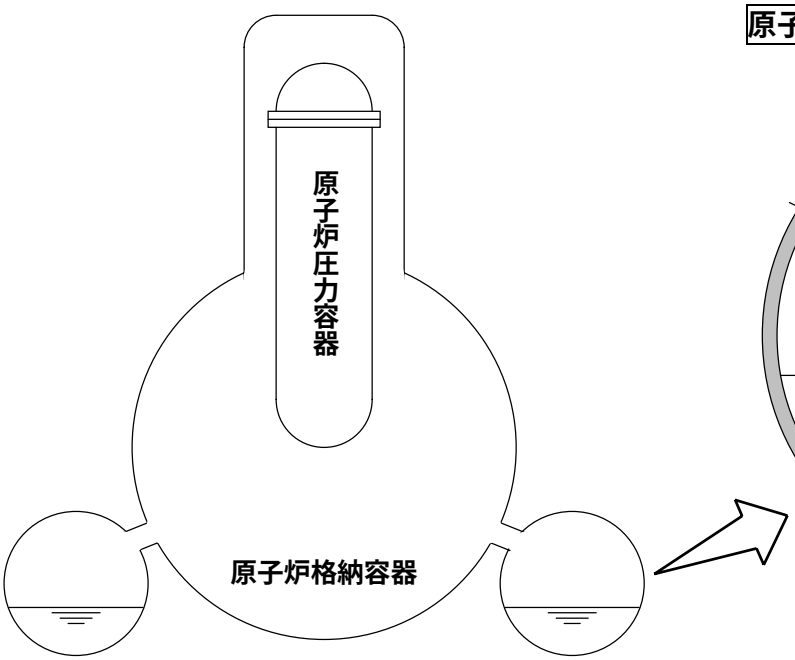
１．原子炉格納容器圧力抑制室概略図

２．原子炉格納容器圧力抑制室内点検結果

以　上

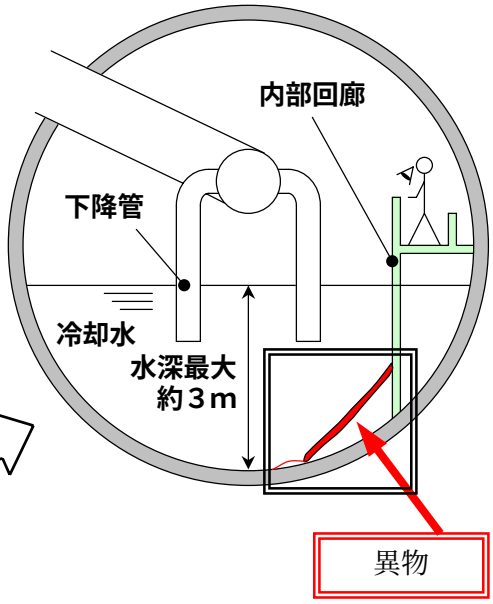
原子炉格納容器圧力抑制室概略図

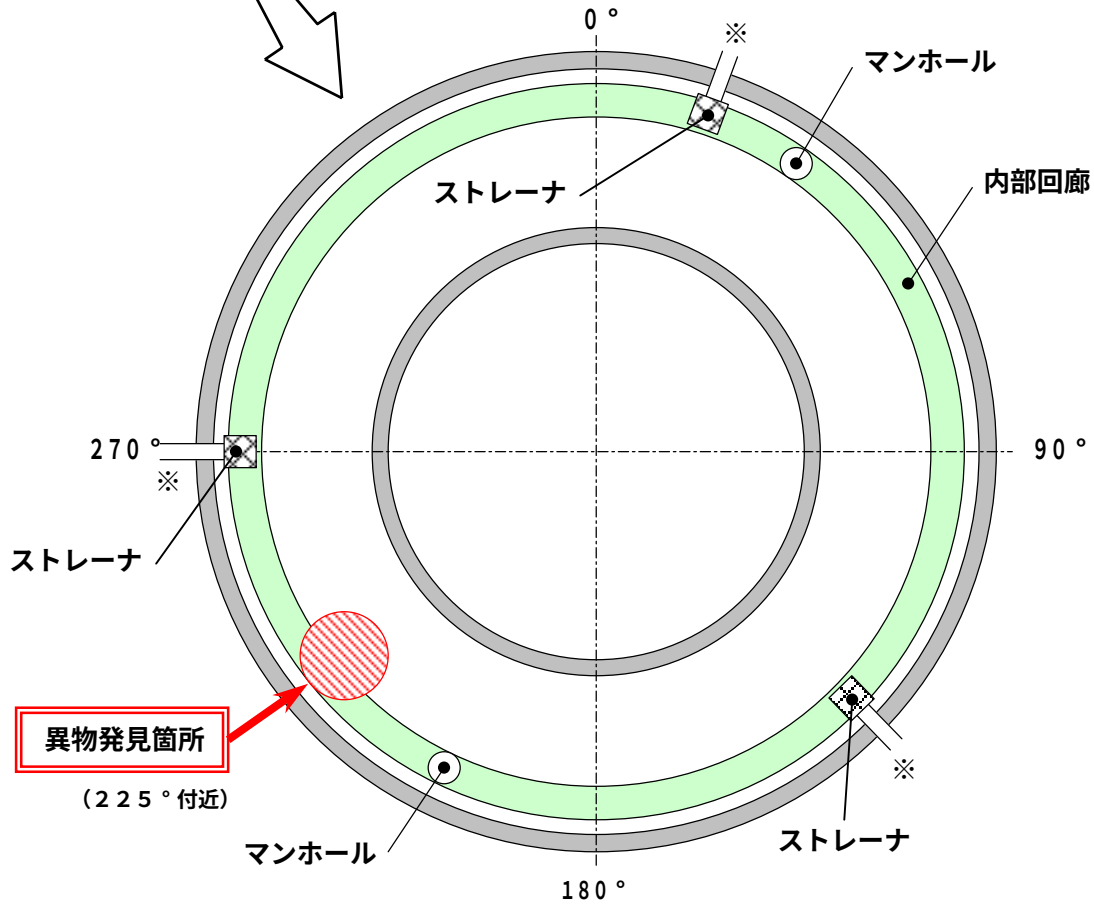
原子炉格納容器



原子炉格納容器圧力抑制室

原子炉格納容器圧力抑制室内部側面図



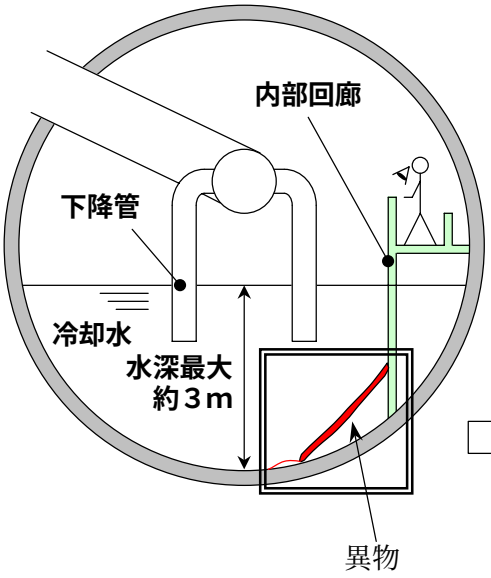


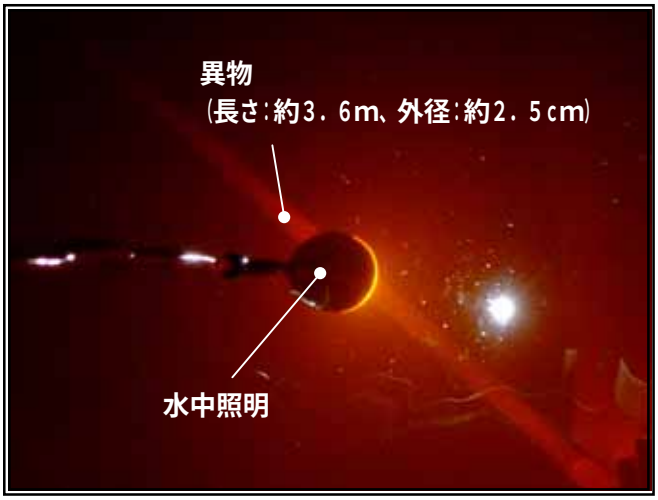
※炉心スプレイポンプ、格納容器
スプレイポンプ入口ヘッダへ

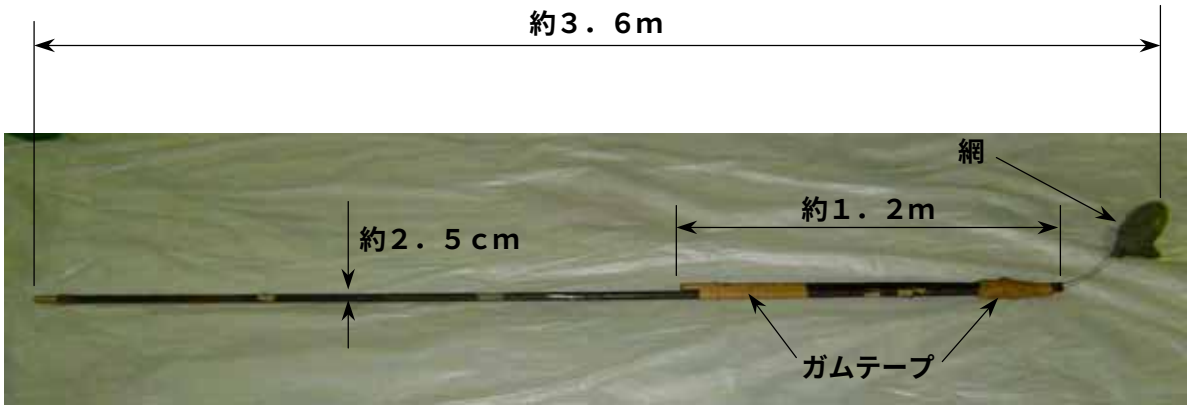
原子炉格納容器圧力抑制室平面図

原子炉格納容器圧力抑制室内点検結果

原子炉格納容器圧力抑制室内部側面図







異物（金属製の棒に網を取付けたもの）